

うさぎの ひっこし

小風さち

あるひ、うさぎは、はらっぱにねころぶと、そらを見あげて、かんがえました。

「たかいたかい、やまのちかくで、くらすって、どんなきもちかしら」

うさぎはおきて、せのびして、とおくをながめて、おもいました。

「ああいいおい、うみのそばで、くらすって、どんなかんじが、するものかしら」

かぜが、さらさら、ふいています。

くもが、ふーふー、ながれてゆきます。

「きめた。わたし、ひっこし、しよう」

うさぎは、はつきり、いいました。

そうときめたら、にづくり、にづくり。

うさぎは、とつと、はしってかえると、リュックサックをだしました。

「だいじなものだけ、もつていこう。ほんとうに、だいじなものだけ」

うさぎは、へやをみまわすと、いちばん、おきにいり

「できた！」

うさぎは、リュックサックを、せおいしました。さあ、やまのちかくかうみのそばへ、ひっこしです！

と、そのときです。うさぎは、はつと、たちどまりました。

「だけど、おなががすいたら、どうするの？」

うさぎは、おさをいちまいに、コップをいっこ、スプーンにフォーク、おなべに、フライパン、しおに、さとうをいれました。それから、リュックサックの、みぎのポケットにイチゴのジャム、ひだりのポケットにハチミツを、ぎゅつ、ぎゅつと、おしこみました。

「できた！」

うさぎは、よいしょと、リュックサックを、せおいしました。リュックサックは、ぎゅちぎゅち。さあ、やまのちかくかうみのそばへ、ひっこしです！

と、そのときです。うさぎはまた、たちどまりました。

「だけど、よる、ねるときは、どうするの？」

うさぎは、もうふと、まくらと、めざましどけいをぐるぐるしはって、リュックサックにのせました。

「これでよし。だいじなものは、ぜんぶもったわ」

うさぎは、よいしょこらしよと、リュックサックをせおいしました。さあ、やまのちかくかうみのそばへ、ひっこしです！

こしです！

ところが、いよいよしゅっぱつの、そのときです。

「たいへん！ わたし、わすれてる」

うさぎは、ピタッと、たちどまりました。

「ほんとうに、ほんとうに、だいじなもの」

うさぎは、あおいはながさくタネと、きいろいはながさくタネと、ピンクのはながさくタネを、だいに、ふくろにいれました。ニンジンのタネと、パセリのタネも、もちました。

「どこにいったって、きれいなはなは、さかせなくっちゃ。おいしいやさいを、つくらなくっちゃ」

さあ、やまのちかくかうみのそばの、あたらしいほらあなに、ひっこしです！
(おしまい)

